

平成 22 年度

(平成 22 年 4 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日まで)

事業報告書

及び

収支決算書

財団法人 げんでんふれあい福井財団

## 目 次

### I. 事 業 報 告 書

1. 事業概要	1 頁
2. 理事会	7 頁
3. 評議員会	8 頁
4. 登記事項	8 頁
5. 役員、評議員	9 頁
6. 助成事業の選考・審査	10 頁
7. 主要経過報告	10 頁

# I. 事業報告書

## 1. 事業概要

### (1) はじめに

平成22年度の事業計画策定にあたっては、中・長期的視点に立ち、今日まで培ってきた財団の機能と特色づくりを最大限に活かして、福井県の文化の振興とゆとりとふれあいのある地域づくりに貢献することを基本方針としました。

平成22年度2月に本県の文化振興策に関する「教育・文化ふいくい創造会議」の提言が知事に提出され、財団としては、これまで培ってきた実績を生かし、県における新しい時代に対応する文化環境を踏まえ、平成22年度の基本方針に基づき、県、市町、県内文化団体等との連携を密にして、地域に根ざした信頼される財団として、次の事業を計画的に実施しました。

### (2) 事業の実施概要

平成22年度に実施した事業の概要は、次のとおりです。

(※は日本原子力発電株式会社からの受託事業)

#### 1) 地域文化の振興に関する事業（寄附行為第4条第1号） 決算額 12,628,280 円

- ① 伝統芸能、伝統行事（無形民俗文化財）の保存と後継者育成等に関する事業に対して  
助成 沓見御田植祭保存会など 12団体に 助成金 1,800千円
- ② 郷土の歴史、文化遺産の伝承、啓発等の活動に関する事業に対して助成  
雲浜まちづくり委員会など 4団体に 助成金 630千円
- ③ 若狭路民俗文化等の継承・保存事業  
財団主唱事業として「若狭路」の民俗文化を将来に引継ぎ、伝承・保存するために、  
「滋賀県物産誌（三方郡編）」を平成22年度事業として若狭路文化研究会と共同出版した  
1,519千円
- ④ 市民文化団体の活動に関する事業に対して助成  
鳳友会など 34団体に 助成金 5,100千円  
(辞退 1件 200千円)
- ⑤ 国際文化交流団体の活動に関する事業に対して助成  
REINAN 国際交流のつどい実行委員会など 3団体に 助成金 580千円
- ⑥ 地域文化の醸成・継承活動に関する事業に対して助成  
遠敷地区ふるさと推進会など 17団体に 助成金 3,000千円  
(辞退 1件 100千円)

## 2) ふれあい及びゆとりの創造に関する事業（寄附行為第4条第2号）

決算額 7,647,365 円

### ① 福祉施設でのイベントを開催

- ・実施内容 第14回福祉演芸会
- ・実施日 平成22年10月5日（火）～7日（木）
- ・実施場所 (敦賀市) 溪山荘、(小浜市) ひまわり荘  
(越前市) 第2和上苑、(鯖江市) ことぶき荘  
(福井市) 宝珠苑、(坂井市) 東尋坊ひまわりの丘
- ・公演者 来世楽（津軽三味線女性ユニット）、林田麻友子（演歌歌手）
- ・参加者 延べ約500名
- ・事業費 2,001千円

### ② ボランティア団体の活動に関する事業に対して助成

生命のメッセージ展 in 敦賀 2010 実行など 9 団体に 助成金 1,170 千円  
(辞退 1 件 70 千円)

### ③ 各種文化サークルの活動に関する事業に対して助成

フォークダンスグループ「リズムの会」など 11 団体に 助成金 840 千円

### ④ 環境保全実践団体等の活動に関する事業に対して助成

鮎川 21 など 14 団体に 助成金 2,600 千円

### ※⑤ 小学生を対象とした海外との絵画交流事業

- ・実施内容 小学生絵画交流展及びオープニング・セレモニーの実施
- ・出品作品 イギリス及び敦賀市の小学生児童による作品（イギリス 71 点、敦賀市 42 点）
- ・実施場所及び日時  
平成22年12月4日（土）～12日（日）日本原電(株) 敦賀原子力館  
平成22年12月14日（火）～26日（日）げんでんふれあいギャラリー  
\* 12月 4日オープニング・セレモニーを実施。
- ・相手国 イギリス（セラフィールド社）
- ・事業費 1,038千円

## 3) 芸術鑑賞機会の提供及び文化創造事業（寄附行為第4条第3号）

決算額 25,820,036 円

### ① 市民芸術文化団体の活動に関する事業に対して助成

若狭路文化協会など 5 団体に 助成金 1,300 千円

② 文化講演会の開催（嶺南地区）

- ・演 題 「“自然派”陽だまり人生のススメ」
- ・実施日 平成22年4月10日（土）
- ・実施場所 敦賀市北公民館
- ・講 師 増岡 弘氏（俳優・声優）
- ・入場者 約120名
- ・共 催 敦賀市連合婦人会
- ・事業費 262千円

※ ③ 文化講演会の開催（嶺北地区）

- ・演 題 「長生きするための食事学入門」
- ・実 施 日 平成22年7月24日（土）
- ・実施場所 福井県生活学習館
- ・講 師 永山 久夫氏（食文化研究科・食文化研究所長）
- ・入 場 者 約530名
- ・共 催 福井県連合婦人会
- ・協 賛 日本原子力発電(株)
- ・事 業 費 272千円

④ 文化講演会の開催（嶺南地区）

- ・演 題 「～情報の正しい選び方～ テレビでは聞けないニュースの裏側」
- ・実施日 平成23年2月6日（日）
- ・実施場所 小浜市文化会館
- ・講 師 辛坊 治郎氏（元 読売テレビ・解説委員、芦屋大学客員教授）
- ・入場者 約500名
- ・共 催 小浜市連合婦人会
- ・事業費 208千円

※ ⑤ 能を楽しむ会の開催

- ・実施日 平成22年11月4日（木）
- ・実施場所 敦賀プラザ萬象 能楽堂
- ・公演者 味方 玄 他
- ・対 象 中学生及び一般
- ・入場者 昼の部：中学生 約430名、夜の部：一般 約300名
- ・後 援 福井県、福井県教育委員会、敦賀市、敦賀市教育委員会  
（社）福井県文化協議会、敦賀市文化協会、(株)福井新聞社、福井放送(株)  
福井テレビジョン放送(株)、(株)嶺南ケーブルネットワーク

- ・協 賛 日本原子力発電(株)
- ・事業費 3, 777千円

※ ⑥ 嶺南地区での音楽会等の開催

- ・実施内容 げんでんふれあいコンサート2010「岩崎宏美」
- ・実施日 平成22年5月8日(土)
- ・実施場所 敦賀市民文化センター 大ホール
- ・公演者 岩崎 宏美 他
- ・入場者 約1, 130名(チケット 2, 000円/人)
- ・後援 福井県、福井県教育委員会、敦賀市、敦賀市教育委員会  
(社) 福井県文化協議会、敦賀市文化協会、福井県高等学校文化連盟  
(株) 福井新聞社、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)  
(株) 嶺南ケーブルネットワーク
- ・協 賛 日本原子力発電(株)
- ・事業費 7, 695千円

※ ⑦ 嶺北地区での音楽会等の開催

- ・実施内容 げんでんふれあいコンサート2010「谷村新司 ～ココロの学校～」
- ・実施日 平成22年10月3日(日)
- ・実施場所 福井市 フェニックス・プラザ 大ホール
- ・公演者 谷村 新司 他
- ・入場者 約2, 000名(チケット2, 000円/人)
- ・後援 FBC福井放送、(株) 福井新聞社
- ・協 賛 日本原子力発電(株)
- ・事業費 5, 504千円

⑧ 音楽会等への協賛事業

- 1) 福井テレビ主催「『まちなかバンドフェスティバル』Rock ON' 2010」に協賛  
平成22年6月11日(金)～13日(日) 福井市 響のホール (300千円)
- 2) 福井新聞社主催 劇団民藝福井公演「神戸北ホテル」に協賛  
平成22年7月3日(土) 福井市文化会館 (500千円)
- 3) 福井エフエム放送主催「ビートフェニックス」に協賛  
平成22年9月4日(土) 福井市 エルパ屋上 (500千円)
- 4) パレア若狭主催「京都市交響楽団オーケストラコンサート」に協賛  
平成22年9月23日(木・祝) 若狭町 パレア若狭 (300千円)
- 5) 県文化振興事業団主催「ショパン生誕200年ディア・ショパン」に協賛  
平成22年11月25日(木) 福井市 ハーモニーホールふくい (900千円)

- 6) パレア若狭主催「今川裕代ピアノリサイタル」に協賛  
平成22年12月4日(土) 若狭町 パレア若狭 (200千円)
- 7) 県文化振興事業団主催「平成22年度福井県新人演奏会」に協賛 (500千円)  
平成23年3月20日(日) ハーモニーホール

計 3,200千円

- ⑨ ふくい県民総合文化祭2010(ふれあいフェスティバル)参加育成支援事業  
平成22年9月から平成23年2月開催のふくい県民総合文化祭参加団体への育成支援事業を行うこととし、平成22年7月27日(火)選考委員会を開催し、6団体1,600千円を決定し、助成した。

- ⑩ 福井県高等学校総合文化祭育成支援事業  
平成22年9月から平成23年2月に開催された福井県高等学校総合文化祭で高校の文化部門の振興・育成を図るため、音楽フェスティバル、新聞展、芸能祭、及び演劇祭等を開催する福井県高等学校文化連盟に対し、200万円の助成を5月18日(火)開催の第2回助成事業選考委員会で決定し、助成した。

4) 優れた文化活動に対する顕彰事業(寄附行為第4条第4号) 決算額 6,098,675円

- ① 第12回げんでんふるさと文化賞及びげんでん芸術新人賞授与  
福井県の地域文化に永年に亘り功績を収められた方に「げんでんふるさと文化賞」を、将来有望な県内在住の新人芸術家に対し「げんでん芸術新人賞」を贈呈しており、1月7日(水)、表彰選考委員会で審議し、2月7日(月)に第13回「ふるさと大賞」写真コンテストの表彰式と合同で各賞の贈呈を行った。受賞者は下記のとおり。

げんでんふるさと文化賞受賞者

<敬称略>

氏名	住所(市町村)	分野
まつ 松 宮 昂	若狭町	絵画造形
まつ 松 村 忠 祀	坂井市	地域文化活動
しお 塩 谷 美 津 子	福井市	俳句

げんでん芸術新人賞受賞者

<敬称略>

氏名	住所(市町村)	分野
いわ 岩 永 純	福井市	絵画造形
しま 島 寄 佐 知 恵	福井市	邦楽

・事業費 1,099千円

② 第13回「ふるさと大賞」写真コンテスト

- ・分野／テーマ 写真／「ふるさとの味わい・ふくいのおいし」
- ・募集期間 平成22年7月中旬～12月10日（金）
- ・作品審査 平成23年1月6日（木）
- ・表彰 平成23年2月7日（月）（福井県ふるさとの日）
- ・展示 平成23年2月1日（火）～2月13日（日）  
敦賀市・げんでんふれあいギャラリー  
平成23年2月18日（金）～2月23日（水）  
福井市・ショッピングシティ「ベル」
- ・応募点数  
一般の部 393点（応募者 91人）  
学生の部 10点（応募者 8人）

---

合 計 403点（応募者 99人）
- ・審査結果  
「ふるさと大賞」 なかむら しゅうぞう 中村 秀蔵 氏（勝山市）「雪割りて」  
ふるさと賞 3名、優秀賞 3名、入選27名、佳作25名
- ・事業費 2,890千円

③ 県かきぞめ競書大会・作品展

- 県下小・中・高生及び大学生を対象とする書初め作品の公募・席上揮毫大会など第73回県かき初め競書大会に特別協賛し、2月13日（日）に行われた表彰式で推薦作品中、小・中学生11点に財団賞を授与した。
- ・事業費 502千円

④ 風花随筆文学賞

- 福井県出身の作家、津村節子氏の随筆集「風花の街から」にちなんで随筆作品を全国から広く募集する「風花随筆文学賞」に特別協賛している。2月24日（木）最終選考委員会が開かれ、入賞作品が決定し、3月5日（土）福井新聞社風の森ホールで表彰式が行われた。尚、優秀賞作品のうち、一般と高校部門から各1名にげんでんふれあい財団賞を授与した。
- 応募作品数 3,208編（一般の部1,616編、高校生の部1,592編）
  - 最優秀賞 2名（一般の部 1名、高校生の部 1名）
  - 優秀賞 10名（ " 5名、 " 5名）
  - 佳作 4名（高校生の部）、奨励賞 21名（高校生の部）
  - ・事業費 1,610千円

5) その他目的を達成するための必要な事業（寄附行為第4条第5号） 決算額 4,457,282円

①財団広報誌発刊事業

- ・名称 「げんでんふれあい福井」の発行

- ・内 容 財団の事業内容・活動等について、広く周知すると共に地域文化振興のため県内の文化活動等も併せて紹介した。

- ・発行回数及び部数

第37号（平成22年 7月） 3, 500部

第38号（平成22年11月） 3, 500部

第39号（平成23年 3月） 3, 500部

- ・配付先

福井県及び各市町村の担当課、教育委員会、公立図書館、公民館、県内の小・中・高等学校並びに各福祉協議会、文化関係団体等に送付した。

また、財団が行った各イベントの際に入場者に配布した。

- ・「広報・企画委員会」の開催

企画・立案を行うため日本原子力発電（株）敦賀地区本部及び福井事務所の広報担当者（若干名）、委託先の印刷会社、財団事務局による委員会を設け、広報誌の充実について審議した。

- ・事業費 3, 001千円

## ②平成23年カレンダーの作成

第13回「ふるさと大賞」写真コンテストの入賞作品を使用し、平成23年のカレンダーを作成し、年末に福井県内の公共団体、文化団体等に配付した。

月めくり 850部、 卓上サイズ 450部

- ・事業費 753千円

## ③財団ホームページによる広報

月1回内容を更新。

- ・事業費 504千円

## ④げんでんふれあい福井財団レポート掲載

（社）福井県文化協議会発行の機関紙「文協」に（財）げんでんふれあい福井財団レポート（8ページ）を掲載し、財団の広報を行なった。

- ・事業費 200千円

## 2. 理事会

開催年月日／場所	審議事項	備考
(第37回) 22.6.10 織協ビル(福井市)	議案1. 平成21年度事業報告及び決算について 報告2. 理事の補欠選任について 報告3. 平成22年度事業実施状況について	理事9名、監事2名出席

(第38回) 22.9.16 ニューサンピア敦賀(敦賀市)	議案1. 評議員の補欠選出について	理事11名、監事2名出席
(第39回) 23.3.10 織協ビル(福井市)	議案1. 平成22年度収支補正予算について 議案2. 平成23年度事業計画について 議案3. 平成23年度収支予算書について 議案4. 理事長及び専務理事の選任について 議案5. 評議員の補欠選出について 報告1. 平成22年度実施状況について 報告2. 理事及び監事の選任について (任期满了(3月31日付)に伴う役員の選任)	理事9名、監事2名出席

### 3. 評 議 員 会

開催年月日/場所	審 議 事 項	備 考
(第38回) 22.6.10 織協ビル(福井市)	議案1. 平成22年度事業報告及び決算について 議案2. 理事の補欠選任について 報告1. 平成22年度事業の実施状況について	理事3名、評議員7名 監事2名
(第39回) 22.9.16 ニューサンピア敦賀(敦賀市)	報告1. 評議員の補欠選任について	理事3名、評議員7名 オブザーバー1名出席
(第40回) 23.3.10 織協ビル(福井市)	議案1. 平成22年度収支補正予算について 議案2. 平成23年度事業計画について 議案3. 平成23年度収支予算書について 議案4. 理事及び監事の選任について (任期满了(3月31日付)に伴う役員の選任) 報告1. 平成22年度事業実施状況について	理事3名、評議員10名 オブザーバー1名出席

### 4. 登 記 事 項

#### (1) 理事変更登記

- 1) 平成22年6月10日の評議員会において補欠選任された次の理事について、平成22年7月に理事変更登記を完了した。

(退 任) 梅田 幸重、吉田 和夫

(新 任) 堂田 英治、江戸 吉弘

なお、登記完了後、平成22年7月14日に理事変更登記完了届を福井県知事及び福井県教育委員会に提出した。

2) 平成23年3月10日の評議員会において、理事の任期満了に伴い、理事11名の選任について、平成23年4月に理事変更登記を完了した。

なお、登記完了後、平成23年4月18日に理事変更登記完了届を福井県知事及び福井県教育委員会に提出した。

## 5. 役員、評議員

(1) 定数及び現在数 (平成23年3月31日現在)

区分	定数	現在数	備考
理事長	1人	1人	内事務局長兼務1人
専務理事	1人	1人	
理事	10人以上15人以内	11人	
監事	2人	2人	
評議員	10人以上15人以内	10人	

(2) 氏名・所属等 (平成23年3月31日現在)

財団役職名	氏名	所属・役職名
理事長	加藤 眞 治	日本原子力発電(株)常務理事・敦賀地区本部本部長
専務理事	川波 清 一	(財)げんでんふれあい福井財団
理事	堂田 英 治	(財)福井県文化振興事業団専務理事
〃	吉田 多輝子	福井県連合婦人会会長
〃	鰐 渕 信 一	(社)福井県商工会議所連合会専務理事
〃	千葉 清	敦賀市文化協会会長
〃	五十嵐 利 幸	(株)福井新聞社取締役事業局長
〃	竹川 重 弘	(社)福井県文化協議会会長
〃	梓元 庄 市	(財)福井県国際交流協会専務理事
〃	並木 繁	日本原子力発電株敦賀地区本部業務・立地部長
理事・事務局長	江戸 吉 弘	日本原子力発電(株)敦賀地区本部業務・立地部付
監事	蓑 輪 一 範	(株)福井銀行敦賀支店総括店長兼敦賀支店長
	山本 繁	日本原子力発電(株)敦賀地区本部業務・立地部付

評議員	伊藤 嘉 伸	(株)福井新聞社事業局長
〃	多田 英 夫	(社)福井県文化協議会専務理事・事務局長
〃	柴田 幹 男	敦賀市文化協会副会長
〃	中村 秀 男	敦賀商工会議所専務理事
〃	吉田 孝 子	敦賀市連合婦人会会長
〃	宮脇 美恵子	福井県連合婦人会副会長
〃	山岸 博 之	登美子倶楽部「しろゆりの会」理事
〃	加藤 豊 一	日本原子力発電(株) 広報室長

評 議 員	島 守 哲 哉	日本原子力発電(株) 総務室長
〃	山 川 英 昭	日本原子力発電(株)理事・敦賀地区本部地域共生部長

## 6. 助成事業の選考・審査

### 1. 助成団体の公募

平成12年度制定した「助成事業取扱規程」に基づき、「助成事業応募要領」を作成し、関係機関、諸団体に送付するとともに2月15日(月)にプレスに資料配布を行い、助成団体の公募を行った。(締切4月20日(火))

### 2. 助成事業の審査・決定

4・5・6月に開催される申請事業について第1次分として4月1日(木)、第2次分として5月18日(火)に助成事業選考委員会を開催し、下記のとおり助成を決定した。

#### (1) 第1回選考委員会

日 時：4月1日(木)

合 計：35団体 助成決定額 5,610千円

#### (2) 第2回選考委員会

日 時：5月18日(火)

合 計：77団体 助成決定額 11,780千円

◎平成22年度助成交付額	112件/17,390千円
--------------	---------------

うち3団体(藤巳会、西地区まちづくり協議会、明新ハンドベルクワイア)より辞退届けが提出された。(△370千円)

## 7. 主要経過報告

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

4月 1日	平成22年度第1回助成事業選考委員会開催
4月10日	文化講演会(講師:増岡 弘氏)を敦賀北公民館にて開催(敦賀市連合婦人会と共催)
4月20日	平成22年度助成事業公募締切
4月30日	日本原子力発電(株)より平成22年度事業運営資金寄付収入 53,547千円受領

5月 8日	げんでんふれあいコンサート2010「岩崎宏美コンサート」を敦賀市民文化センターにて開催
5月18日	平成22年度第2回助成事業選考委員会開催
5月25日	財団監事による平成21年度決算監査
6月10日	第37回理事会及び第38回業議員会開催（福井市・織協ビル） （主な議題：平成21年度事業報告及び決算について）
6月11日 ～13日	福井テレビ主催「『まちなかバンドフェスティバル』Rock ON'2010」に協賛（於：福井市・響のホール）
7月 3日	福井新聞社主催「劇団民藝福井公演『神戸北ホテル』」に協賛 （於：福井市文化会館）
7月24日	文化講演会（講師：永山久夫氏）を福井県生活学習館にて開催 （福井県連合婦人会と共催）
7月27日	ふくい県民総合文化祭参加育成支援事業選考委員会開催
7月29日	平成22年度 第2回広報・企画委員会（広報誌第38号）を開催
7月 末	広報誌（第37号）を発行
9月 4日	福井エフエム放送主催「ビートフェニックス」に協賛 （於：福井市・エルパ屋上）
9月16日	第38回理事会及び第39回評議員会並びに役員、評議員合同懇談会 開催（敦賀市・ニューサンピア敦賀） （主な議題：評議員の補欠選出について）
9月23日	パレア若狭主催「京都市交響楽団オーケストラコンサート」に協賛 （於：若狭町・パレア若狭）
10月 3日	げんでんふれあいコンサート「谷村新司 ココロの学校」を福井市・フェニックス・プラザ大ホールにて開催

10月 5日 ～7日	第14回福祉演芸会開催（県内6福祉施設）
11月 4日	「能を楽しむ会」をプラザ萬象にて開催
11月25日	県文化振興事業団主催「ショパン生誕200年ディア・ショパン」に特別協賛（於：福井市・ハーモニーホールふくい）
11月 末	広報誌（第38号）発行
12月 4日 ～1月21日	日英絵画交流展及びオープニングセレモニー開催（於：敦賀原子力館） 12月 4日～12日 於：敦賀原子力館 12月14日～26日 於：げんでんふれあいギャラリー 1月12日～21日 於：参加小学校
12月 4日	パレア若狭主催「今川裕代ピアノリサイタル」に協賛（於：若狭町・パレア若狭）
12月 9日	平成22年度第3回広報・企画委員会（広報誌第39号）を開催
1月 5日	第12回げんでんふるさと文化賞及びげんでん芸術新人賞表彰選考委員会を開催
1月 6日	第13回「ふるさと大賞」写真コンテスト審査会を開催
2月 1日 ～13日	第13回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会をげんでんふれあいギャラリーにて開催
2月 6日	文化講演会（講師：辛坊治郎氏）を小浜市文化会館にて開催（小浜市連合婦人会と共催）
2月 7日	第12回げんでんふるさと文化賞・げんでん芸術新人賞及び第13回「ふるさと大賞」写真コンテストの表彰式を開催
2月13日	第75回県かき初め競書大会作品表彰式（特別協賛）（於：福井新聞社・風の森ホール）

2月18日 ～23日	第13回「ふるさと大賞」写真コンテスト入賞作品展示会を福井市・ショッピングシティベルにて開催
2月19日	県文化振興事業団主催「平成22年度福井県新人演奏会・公開オーディション」に協賛（於：福井市・ハーモニーホールふくい）
3月5日	第14回風花随筆文学賞表彰式（特別協賛）（於：福井新聞社・風の森ホール）
3月10日	第39回理事会、第40回評議員会開催（福井市・織協ビル） （主な議題：平成22年度事業補正予算、平成23年度事業計画及び収支予算について）
3月20日	県文化振興事業団主催「福井県新人演奏会」に協賛（於：福井市・ハーモニーホールふくい）
3月31日	平成23年度第1回広報・企画委員会（広報誌第40号）開催
3月 末	広報誌（第39号）発行  「滋賀県物産誌（三方郡編）」を若狭路文化研究会と共同出版

以 上